

フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 mail : info@fb-komae.org

給食のない冬休み「食の分かち合いで子育て応援」 180世帯の子育て家庭に食品提供しました

昨年の夏から、ひとり親世帯への食品提供を就学援助受給世帯にも広げました。夏休みは176世帯に提供し、冬休みは180世帯で90世帯が直接受取りにられました。今回、倉庫での受渡しでは、ローソンとローソン銀行寄贈の生活用品も選べたことが好評でした。顔なじみになっているお子さん連れの世界や、初めて申込まれて「こんなに沢山…」と喜ばれる姿が見られました。返送アンケートには、「想像以上の食品の多さやバラエティーの豊富さ」、また「この活動への感謝の想い」が多く寄せられました。また、現金や食料などの支援以外に、どんな支援を希望するかとアンケートで尋ねたところ、「子どもの学習支援」や、「子ども食堂と勉強や遊びの居場所」という回答が多く見られました。



実施報告はこちらです



学習支援 For クリスマス&春休み

10月のハロウィンに続き、子ども政策課と、こま YELL が実施する学習支援を受ける子どもたち45人に、クリスマスのお菓子と飲料を提供しました。家に持って帰って親御さんにも見てもらえるよう、団体紹介のメッセージカードもつけました。この春、コロナ禍オミクロン感染拡大の中でも、頑張って勉強しようとして学習支援に集う子どもたちが、高校・中学への進学・進級の季節を迎えます。子どもたちにお菓子や飲料を提供予定です。お菓子に添える可愛いリボンを付けた手書きのメッセージカードも準備しています！



給食のない春休み ひとり親と就学援助を受給する世帯の子どもたちに食べ物を届けよう！

2021年の夏休みと冬休みの子育て応援に申し込まれた世帯を対象に、食料支援を行います。長引くコロナ禍の春休み、親子が笑顔で過ごし、元気に新学期を迎えて欲しいと願っています。ご家庭に眠っている食品の寄贈、配送費の寄付など、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【活動報告】

・12月

- 2日 冬休み子育て応援発送開始
- 3, 5, 9日 子育て応援食料直接お渡し
- 22日 冬休み子育て応援申込み締切
- 27日 仕事納め

※12月こまエールへの食料提供141件
支援量528.8Kg(内お米153Kg)

・2022年1月

- 6日 仕事始め
- 14日 中島信子副理事長の新刊紹介でコマラジ(狛江FM)出演
- 24日 社会福祉法人連絡会によるフードドライブ品の寄贈受ける

※1月こまエールへの食料提供131件
支援量431.6Kg(内お米128Kg)

・2月

- 11日 コマラジ(狛江FM)に出演して春支援の食品寄贈を呼びかけ
- 17日 東都生協のフードドライブ食品の寄贈を受け、仕分け・受け取り
- 21日 カーブス祖師ヶ谷大蔵店、上野毛店からフードドライブ品の寄贈
- 22日 春休み子育て応援申込開始
- 24日 カーブスアメリカ稲城店、狛江駅前店など店舗のフードドライブ品を寄贈受け取り
- 28日 ポラン広場東京より食品寄贈を受ける
- 28日 春休み子育て応援申込締切り

【今後の予定】

・3月

- 8日 春休み子育て応援食品発送開始
- 11日 第1回春休み子育て応援お渡し
- 13日 第2回春休み子育て応援お渡し

年初からフードドライブにご協力いただきました！

年明け1月24日に、狛江市社会福祉法人連絡会(狛江市社会福祉協議会・こまえ正吉苑・こまえ苑・ひかり作業所・虹のひかり保育園・狛江保育園)からフードドライブによる寄贈食品74.4kgを受け取りました。(写真上)



昨年に続き2回目の取り組みでした。狛江市社会福祉法人連絡会では地域住民が気軽に相談できる窓口として6法人に「福祉なんでも相談」を開設しています。

2月17日には東都生活協同組合より、組合員によるフードドライブ食品346.7kgを調布センターで仕分けし、受け取りました。東都生活協同組合調布センターでは年2回フードドライブに取り組み、寄贈食品を支援いただいています。(写真下)



※フードドライブとは家庭で眠る未使用食品を持ち寄り、フードバンクに寄付する活動です。

12月～1月 寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆さま、 本当にありがとうございました！



■食品の寄贈(敬称略):

三色パステルアート/おてらおやつクラブ町田・華厳院/(株)ロツテ/明治グループ/フードバンク三鷹/東京すずらの会/(株)ローソン / (株)ローソン銀行/狛江市東野川学童保育所/堀口珈琲/(株)オンザワ/天理教江東分会/ユウキ食品(株)/アサヒグループ食品(株)/第一生命保険(株)/キューサイ(株)/トータス往診クリニック/東都生活協同組合/グルメシティ三鷹中原店/(株)トラスト・ウィン/コープみらい調布染地店/(株)プランニングオフィスエスエムエス/日本信号(株)/狛江市商工会/全国農業協同組合連合会/狛江市猪方学童保育所/狛江三田会/杉本商店/フーディアム下北沢店/狛江市福祉法人連絡会/三井住友トラスト・ローン&ファイナンス(株)/コカコーラボトラーズジャパン(株) 他、企業・市民の皆さま(193名)より約3.6トン。

■お金の寄付:延べ44名の皆さまから総額約23万円の寄付を頂戴しました。

理事長コラム ～他都市の支援で考える～

田中 妙幸

最近他都市からSOSが多く、活動日以外も食料支援を求める困窮者の話を聞くことが増えた。聞けば聞くほど支援の期待も持つので「聞きすぎないほうがいい。」とも思う。しかし電話口で泣かれ、時には辻褄の合わない話に、「支援窓口とこじれているのか?」「公的支援を受けられない理由がある?」「孤立しているのはなぜ?」「今後どうする?」と心配になって話が長引く。当該の支援窓口を調べて紹介しているが、その後連絡もないケースがほとんど。相談支援はフードバンク狛江の事業にはなく、乗り出す団体の余裕もない。公的な支援の補完や隙間を縫う事業として食料支援をボランティア活動で支え、市の委託事業ではないから財源確保の苦労はある。しかし、そんなフードバンク狛江から「食料支援は増加の一途、生活保護が狛江でそれほど増えていない。どうなっていますか?」と行政に聞きただし、自立相談支援の窓口で「困窮する市民に寄り添って生活を立て直していく為にこそ食料を使ってほしい!」と団体として言い続けたいと思う。支援側が難しいと思う人は、本人が一番困っているはず。「やり直す機会や寛容性のある社会を創る」のは、とても難しい課題だが、小さな一助の歩みを、またこの一年頑張ろうと思う。

新刊本紹介

「あしたへの翼」 汐文社

児童文学者 中島信子著
(フードバンク狛江副理事長)

小学校六年生で認知症のおばあちゃんの介護をする少女。いま大きな問題となっている「ヤングケアラー」を当事者の子どもの視点から描いています。様々考えさせられる作品です。



団体事務所でも
お求めいただけます。
お声がけください。



NPO 法人 フードバンク狛江 事務所・倉庫

〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7

開所日: 毎週月曜・木曜 13時～17時

Facebook: 「フードバンク狛江」で検索

現金や振り込みだけでなく、
クレジット決済でも寄付を
受け付けています →

